

お問い合わせ先



Website
<https://www.noukajapan.com/>



Facebook
<https://www.facebook.com/ishinomakinogyoinaite>



Instagram
<https://www.instagram.com/noukajapan>



Twitter
<https://www.twitter.com/noukajapan>



YouTube
<https://www.youtube.com/channel/UCx2QEmVcmWGcLFFTGJ5Ux1A>

宮城県石巻市農業担い手センター

TEL 0225-90-4748

FAX 0225-25-6869

MAIL info@noukajapan.com

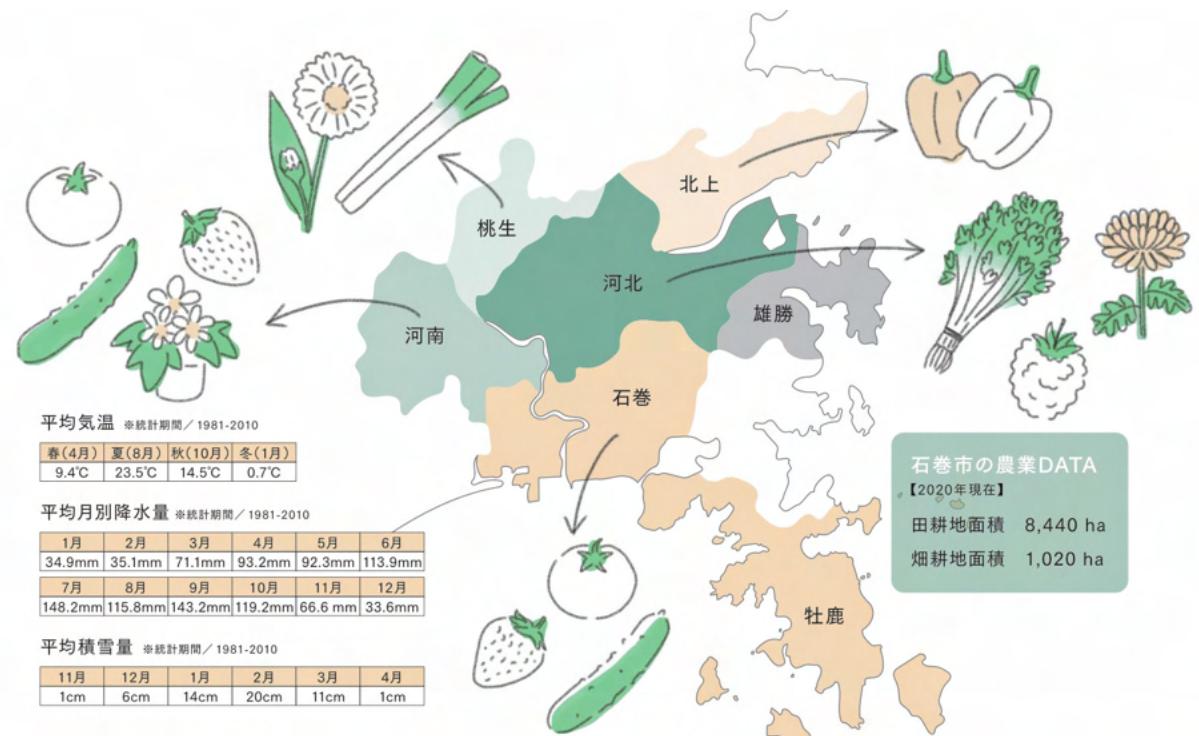
委託先 一般社団法人イシノマキ・ファーム
〒986-0204 宮城県石巻市北上町女川字泉沢13

宮城県石巻市農業担い手センター





宮城第二の都市、石巻。東北地方の中でも夏は涼しく、冬は雪が少なく、過ごしやすい地域です。北上川の恵みと世界三大漁場・金華山沖を有する自然豊かな食の宝庫です。約400年前には江戸への米が、北上川の水運を活用して石巻に集められ、一大港町として栄えました。2011年には東日本大震災により甚大な被害を受けましたが、世界中からの温かい御支援をいただきました。元来地域が有する自然や人などの資源を最大限に生かし、さらなる発展に向けて歩みを進めています。



「米」ササニシキ



石巻市はササニシキの生産量日本一。寒い東北地方においても比較的病気に強い品種として誕生し急拡大。昭和60～平成5年までは全国第2位の作付けを占めていたほどでした。しかし、平成5年の冷害で生産量は急激に減り、現在は幻の品種と呼ばれています。石巻市でもかつてより生産量は減りましたが恵まれた土壌と気候により、現在まで栽培が続いています。

「野菜」河北せり



石巻市では300年前から栽培されており、河北地区で栽培されている「河北せり」は令和2年に農産物として地理的表示(GI)保護制度に登録されました。やわらかでシャキシャキした食感が特長です。

「園芸」いちご



世代を問わず人気のあるいちごは宮城県を代表する主要園芸品目であり、石巻市は県内で生産量が上位の生産地です。主な栽培品種としては「とちおとめ」「べにほっぺ」そして東北地方の寒さに強い品種として作られた宮城県生まれの品種「もういっこ」があります。

石巻市農業担い手センターについて

就農へのきっかけは人それぞれ。

ゆえに、就農後のステップも人それぞれ異なることは当然です。

石巻市農業担い手センターでは、それぞれに合わせた就農プランを伴走しながらつくって行きます。

ご希望の就農スタイルはもちろん、住む場所や暮らし方なども、

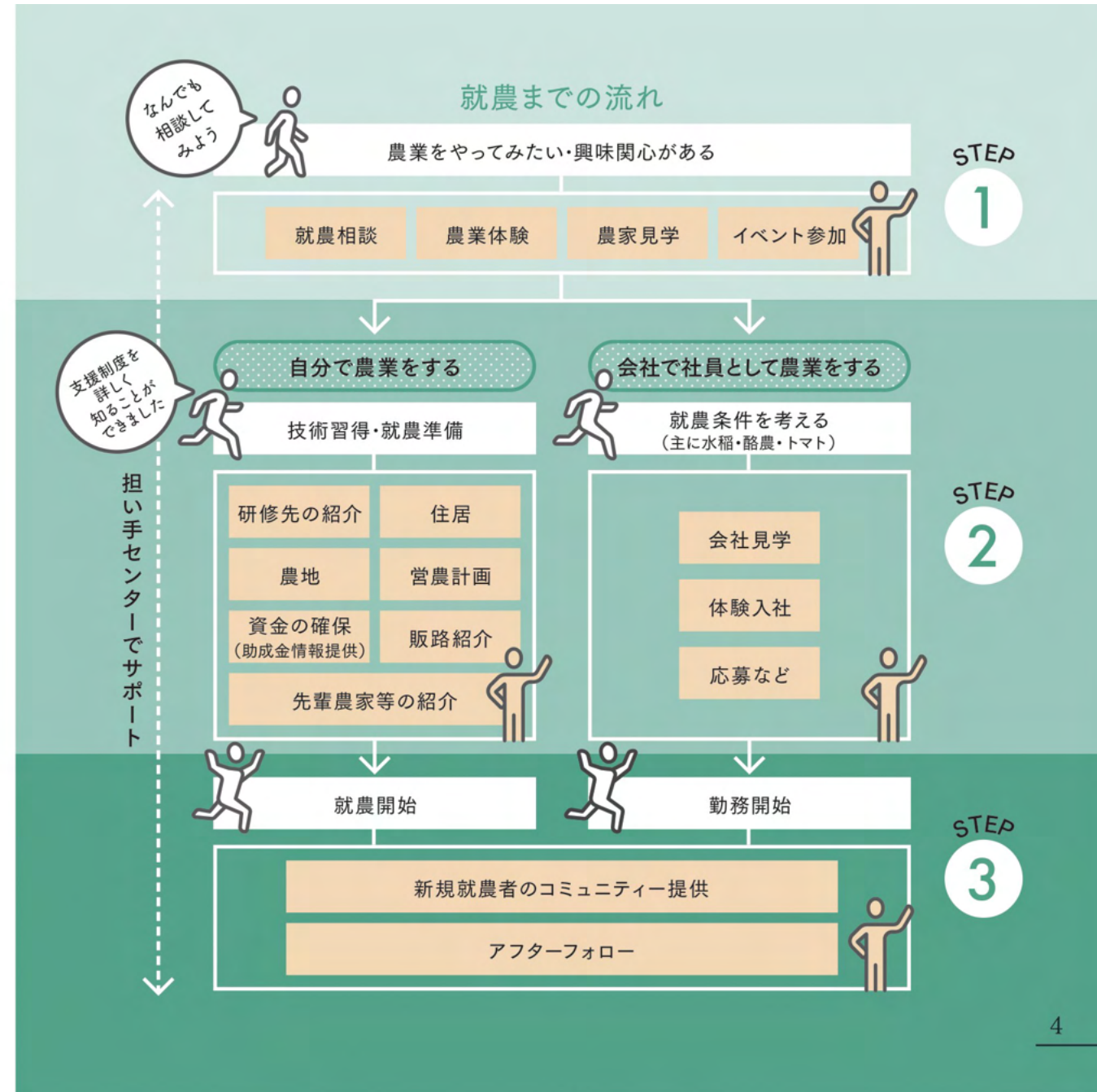
関係機関と連携しながら総合的に伴走していきます。



就農相談窓口
就農に関する相談・アドバイス等
毎月、個別就農相談会開催

移住情報の提供
空き家、生活等に関する情報のご提供

石巻市農業担い手センター問い合わせ先
TEL 0225-90-4748
MAIL info@noukajapan.com



就農した時期ときっかけ

収入源を得るため偶然農業法人で勤め始め、いつしか農業にのめり込むようになっていました。

(震災後に東松島市の農業法人の立ち上げに参画し、パートから社員に。)社員として関わり会社に骨を埋める気でしたが、独立就農したいという気持ちが芽生え、自営での就農を決意。新規就農の支援制度に年齢制限があるので、44歳で独立就農しました。

栽培品目と栽培理由

アスパラ:女性でも軽作業が多く初期費用も抑えられるためです。

ミニトマト:農業法人で栽培方法を習得していました。

スティックブロッコリー:流通が少なく、低い競争率。また、美味しく・栄養価が高いことから需要があると思い栽培を決めました。

就農して感じたこと

意外と事務作業も多く、事業計画を立てたりすることは大変なことでした。しかしながら、長い目で見ると、1年のサイクルを考えることは自分の目標を達成するためにとても大切なことだと感じました。

今後の展望

畑のある桃生の地域活性のため、直売所とカフェが入った複合施設的な観光農園を作りたいです。

また、今までは農業は男性主体なイメージが強かったですが、女性の感性やアイデアを活かした女性ならではの、女性がより活躍できる新しい農業の形を作っていきたいです。

就農を考えている方へ一言

関係機関を巻き込み、営農計画をしっかりと立てて就農しましょう。新規就農者同士で、情報共有して石巻の農業を盛り上げましょう!



農家's VOICE 1

独立就農

成澤 利香 さん

1976年生まれ
宮城県東松島市出身
栽培品目/アスパラ、ミニトマト、スティックブロッコリー

就農までの流れ

石巻市内の農業法人に入社(2009年)
↓
東松島市内農業法人に入社(2011年)
↓
独立就農(2020年)

一日のスケジュール

6:00 起床 弁当作り
8:00 出荷(直売所など)
9:00 農作業
12:00 昼休憩
13:00-16:30 バック詰め
16:30-17:00 出荷(農協)
18:00 帰宅
20:00 夕食
24:00 就寝

年間のスケジュール

2月 中旬:アスパラ定植・収穫、スティックブロッコリー種まき
3月 下旬:スティックブロッコリー定植、トマト定植
5月 スティックブロッコリー収穫(8月まで)
中旬:トマト収穫(1月まで)

就農した時期ときっかけ

2019年にあかま里山農園(現(株)飯野村)の台風19号の被害の片付けを手伝い、その後ちょうど離職中に声をかけられ就農することにしました。

雇用就農してよかったこと

就農した会社ではチャレンジすることを拒まず、柔軟になんでもやらせてもらっています。

通販やSNSも、入社後に必要性を感じ始めました。

就農して感じたこと

自然と接する機会や一人になる時間も多いため、会社員の時よりもストレスなく活動できているように思います。

また、販路開拓やプロデュース力の必要性を強く感じています。栽培の名人はたくさんいますが、販売の名人はなかなかいない気がします。

今後の展望

(株)飯野村、実家の農地を活かしながら、相乗効果で地域を盛り上げたり、百姓という言葉のように、様々な技術や知識を身につけて生活していきたいです。

就農を考えている方へ一言

稼ごたいのであれば、経営者の視点が必要だと思います。

暮らしや就農のイメージをしっかりと持ってから、それに向けて準備をすることが大切だと思います。



宮城県石巻市農業担い手センター主催若手就農者交流会の様子
※p4就農までの流れSTEP3参照



農家's VOICE 2

若手就農者交流会参加

島山 周平 さん

1983年生まれ
宮城県石巻市出身
栽培品目/米、大豆、たけのこ、ブルーベリー等

就農までの流れ

大学卒業
↓
埼玉・仙台・石巻で会社員生活
↓
就農(2020年)

一日のスケジュール

6:30 起床 SNSチェック 12:00-13:00 お昼
7:30 朝食 15:00 休憩
8:30 出勤 一日の業務確認 17:00 業務終了
9:00 業務開始 17:30-23:00 余暇活動
10:00 休憩(10分ほど) 24:00 就寝

年間のスケジュール

2月 たけのこの間伐(2月まで)
中旬:田んぼ耕起(2月まで)、ブルーベリーの剪定(3月上旬まで)
4月 中旬:米の育苗(5月中旬まで)・田んぼ耕起(4月まで)・肥料散布
下旬:田んぼ代掻き(5月上旬まで)、たけのこ収穫(5月まで)
5月 上旬:田植え(5月中旬まで)
中旬:ブルーベリー摘果 6月
下旬:ブルーベリー収穫(8月上旬まで)
9月 中旬:稲刈り(10月上旬まで)
10月 上旬:米出荷(10月中旬まで)・田んぼ耕起(11月上旬まで)

就農した時期ときっかけ

保育士を目指していましたが、長男ということもあり、実家の農業を継ぐことになりました。最初は抵抗がありましたが、今となっては充実した農業LIFEを過ごしています。

栽培品目と栽培理由

スリムネギ：石巻市桃生町はスリムネギの生産地で、親がスリムネギを栽培していました。

ササニシキ：加工用米の契約のため。

ササングレ：ササングレを初めて食べた時に美味しさに衝撃を受け自分でも栽培したいと思ったのが始まり。無農薬無化学肥料での栽培をたく、調べたらササングレが向いていることを知りました。タネの入手は困難でしたが、入手できたことによって栽培スタートしました。

就農して感じたこと

就農当初はBtoBでの販売が中心でした。また、インターネットが今ほど普及しておらず、情報入手も今より難しく閉鎖的に感じていました。今ではECサイトやSNSから直接注文をいただけるように。情報収集・発信共にやりやすくなり、自分の創意工夫でいくらでも可能性が広げられるようになりました。

今後の展望

お客様の声はモチベーションにもつながるため、お米は顔の見える販売先を増やしていきたいです。スリムネギは、今まで築いてきたブランドをさらに強固に、伝統的なものにしていきたいです。また、現在使っていないハウスで新しい品種も試みたいです。

就農を考えている方へ一言

今ある固定概念にとらわれず、自由な発想でやるのが楽しいと思います。楽しんでなんぼです。



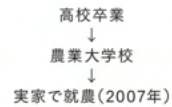
農家's VOICE 3

石巻農学ゲスト講師

佐々木 拓郎 さん

1986年生まれ
宮城県石巻市出身
栽培品目/米(ササニシキ、ササングレ等)、スリムネギ

就農までの流れ



一日のスケジュール

- 5:00 起床後、軽トラに乗ってネギ収穫へ
- 7:00 帰宅 朝ご飯
- 8:00 子供を送る、作業準備
- 9:00 パートさん到着
- ハウスに移動、農作業
- 12:00 昼食
- 13:00 農作業・出荷作業
- 15:00 子供の迎え
- 18:00 作業終了 夕食
- 19:30 入浴
- 21:00 子供を寝かせつつ自分も就寝

年間のスケジュール

- 1月 ネギ(種まき・収穫毎月繰り返す)
- 2月 ネギ
- 3月 田んぼ耕起作業
- 4月 米の種まき
- 5月 田植え
- 6-9月 田んぼの除草作業
- 9-10月 米の収穫

移住した時期ときっかけ

2019年6月に夫婦で移住。

2017年に石巻で開催されたリボン・アートフェスティバルで初来石し、その際立ち寄った追分温泉への道中で北上川の景色に魅せられたことがきっかけです。東京での生活に対して窮屈さを感じていたことや家族の時間を第一に考えるようになったこと。また、両親の実家が四国の愛媛でミカン農家をしており、農業にも興味があったことなどから移住を決めました。

現在の活動内容

現在は一般社団法人イシノマキ・ファームに所属しています。

農作業をメインに農福連携として就労支援団体と連携をとり、訪れた人と農作業を一緒にすることで、身体を動かしたり、リフレッシュし、コミュニケーション力向上など、就労支援や生活のアシストにつなげています。また収穫した野菜を活用し、市内にあるI-HOP CAFEというカフェの営業や、野菜販売等を行っています。

就農して感じたこと

自然が豊かで時間がゆっくり流れる事、人との距離が良くも悪くも近い事です。

今後の展望

農福連携事業の拡大に力を入れていきたいです。

あらゆる所で生きづらさを感じている方がいると思うので、出来る範囲で手を差し伸べて、肩の力をぬいて、生きることへの補助が出来たらと思います。

就農を考えている方へ一言

移住は手段として考えた方がいいと思います。目的にすると続きません!! あくまで環境変化のきっかけ、農業をするため、自然の中でくらしたいなどの目的があればいいですが、逃避としての移住や移住したら何か変わるという考えだとうまくいきづらいです。



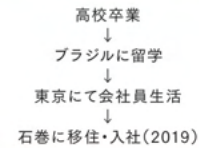
農家's VOICE 4

移住者

池田 新平 さん

1985年生まれ
東京都西東京市出身
栽培品目/人参、かぼちゃ(バターナッツ)、玉ねぎ、サツマイモ等

就農までの流れ



一日のスケジュール

- 6:00 起床(1時間 犬の散歩)
- 9:00-12:00 出勤・農作業
- 12:00-13:00 昼食
- 13:00-16:00 農作業
- 16:00 事務仕事
- 17:30 退勤
- 19:00 夕食
- 20:00-22:00 まったり(お風呂やら自由時間)
- 23:00 就寝

年間のスケジュール

- 1-2月 ハウス(リーフ・ラディッシュ・小松菜・春菊)栽培、収穫
- 3月 ジャガイモ、カボチャ、ナス、トマト
- 4-6月 除草、追肥
- 7-10月 夏野菜収穫、出荷、除草(7,8月はホップ収穫)
- 11-12月 事務作業、ハウス準備

栽培品目と栽培理由

にこにこベリー:様々ないちごの品種が増えている中で、新品種の栽培提案をもらい、収穫量に安定性のある宮城県オリジナルのにこにこベリーの栽培を開始しました。

とちおとめ:もともと栽培していた品種で、めぐみブランド(化学肥料と農業使用が、宮城県内で一般的な慣行栽培に比べて、半分以下で栽培)という形で出荷しています。

いちごのこだわりは?

できるだけ元気のいい木を作って、木で成熟させて出荷しています。農業以外のもの(炭酸ガスや紫外線など)を使って虫や病気を防除し、なるべく農薬使用頻度を減らすようにしています。

指導農業者としてできることは?

地域の農家の皆さんと情報の共有、研修指導や新規就農希望者に助言や技術指導など皆さんのお役に立つこと。

今後、石巻の農業がどうなってほしい?

縦・横の関係性をもっと強めて、皆で切磋琢磨しつつ、自分の与えられた環境の中でもより頑張っていけたらいいと思います。

就農を考えている方へ一言

理想と違うことも多くあつたりしますが、そのような部分も含め色々楽しみ、課題を見つけながらやっていって欲しいです。困ったことがあればぜひ、相談にきてください!



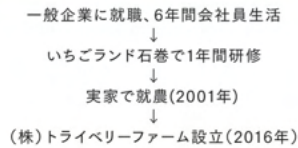
農家's VOICE 5

指導農業者

高瀬 卓弥 さん

1977年生まれ
宮城県石巻市出身
栽培品目/いちご
(にこにこベリー・とちおとめ)

就農までの流れ



一日のスケジュール

5:50	起床
7:45	出社・仕事の段取りの確認
8:30	パートさん出社、収穫作業
12:00	昼食
13:00	出荷調整作業(バック詰め)
17:30	帰宅
19:00-21:00	趣味の時間(スゴ少で子供達と剣道など)
23:00	就寝

年間のスケジュール

3月	親苗の定植
7月	苗の仮植
9月	定植作業
11月	収穫開始
↓	
6月	上旬・収穫終了

栽培品目と栽培理由

ササニシキ(10.1ha):父親の代から無農薬で栽培しており、子供の頃から食べてきたササニシキが好きだからです。

ミヤコガネモチ(1.4ha):輸向けのみりんメーカーとの契約栽培をしているためです。

サツマイモ(30a):栽培の依頼があったためです。

ササニシキのこだわりは?

石巻の気候に適したササニシキは、生産量は石巻が日本一。平成5年の大冷害の影響で生産者が減少し現在では希少価値の高い品種になってしまいましたが、田伝むしでは子供たちも安心して食べられる無農薬栽培で、冷害に強いササニシキを育てるように心がけています。

研修生に求めることは?

体力や経済面などを想定した上で、後戻りせず農業をやるという覚悟と、自分の持っているスキルの活用、環境の変化への適応力が求められます。

今後、石巻の農業がどうなってほしい?

比較的温暖な気候なため、現在作られていない作物を含め様々な可能性を持った農業の選択肢があります。固定概念にとらわれず、クリエイティブな発想で色々やってみるといいと思います。

就農を考えている方へ一言

石巻は米・野菜どちらも選択の幅があるので、自分に合う農業が見つけれられると思います。まずは来て、色々な農業に触れてみて、時間がかかってもいいので、自分に合う作物を是非見つけてください。なかつたら生み出してください。



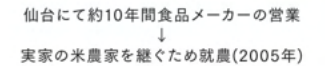
農家's VOICE 6

次世代研修施設(田伝むし)

木村 純 さん

1969年生まれ
宮城県石巻市出身
栽培品目/米(ササニシキ・ミヤコガネモチ)、サツマイモ

就農までの流れ



一日のスケジュール

6:30	起床	子供の送迎、田んぼ巡回
8:00	出勤	事務(業務管理・営業など)
12:00	昼食	
13:00-19:00	業務	
19:00	夕食	
20:00	業務	
24:00	就寝	

年間のスケジュール

1月	干し芋作り
3月	田んぼ耕起
4月	田んぼ耕起・種まき
5月	田んぼ代掻き 下旬:後半田植え(6月初旬まで)、田んぼ機械除草
6月	田んぼ機械除草、サツマイモ定植
7月	田んぼ手取り除草
8月	畑の除草
9月	稲刈り準備
10月	稲刈り
11月	芋掘り、米の出荷作業
12月	干し芋作りスタート

Share House

シェアハウス

石巻市農業担い手センターでは、
現在2か所のシェアハウスを運営しています。
新たな土地での新生活。
少しでもハードルを低くするために、資金的な負担、
仲間のいる暮らしのご提案をシェアハウスを通して行っています。



KITAKAMI BASE

石巻市の北部、北上町の橋浦地区にあるシェアハウスです。
稲作やハウス栽培を行う農業法人へも車ですぐの距離。
担い手センター事務所も近く気軽にご相談いただけます。

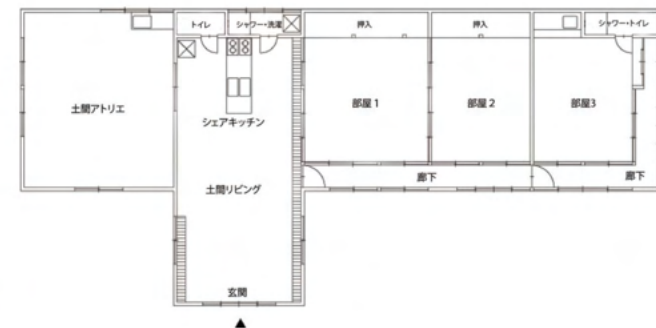
家賃 月 18,000円
共益費 月 5,000円
駐車場 有り
定員 3名



MONO BASE

石巻市の北西部、桃生町の中津山地区にあるシェアハウスです。
築100年をこえる古民家をリノベーションした趣ある一軒家です。
近くにドラッグストア、飲食店、クリニックなどもあり、利便性の良い物件です。

家賃 月 18,000円
共益費 月 5,000円
駐車場 有り
定員 3名



石巻農学

普段何気なく食べている野菜や果物、肉。部屋に飾っている花。分かっているつもりだけれども、なかなか想像したり実感することのない「生産者」の存在。石巻農学では、宮城県内で農作物を生産する農家さんをゲストに、実際に育てられた作物を食べたりしながら、生産者の思いやリアルな現状を伺う時間です。農業に興味のある方はもちろん、「食べること」「一次産業」全般にご興味のある方、ぜひ！



これまでのゲスト講師

- 赤間 裕子さん
(お米、タケノコ、ブルーベリーなど)
- 佐藤 隆助さん
(トウモロコシ、枝豆など)
- 佐々木 拓郎さん
(お米、スリムネギ)※p7参照
- 亀山 晴央さん
(シクラメンなど)
- 西條 由美恵さん
(ガーベラ)

他



お試し移住
ツアー

新しい場所で暮らすのはハードルが高いこと。そこで、旅するように暮らしてみることで、その土地に自分があっているのか、どんな暮らしがしたいのか?そのようなことを改めて考えてみたり、石巻の農家さんを訪問し、その暮らしに触れてみたりいざ移住をする際のハードルをできるだけ低くするような仕掛けを散りばめた石巻の「農」のある暮らしを体験するプログラムです。



スケジュール R2年度開催例

▼1日目

- 8:20 東京発
- 10:18 仙台発
- 11:16 石巻着
- 昼 移動しながら昼食
- 午後 農作業体験
- 夕方 お風呂
- 夜 シェアハウスで晩ご飯
先輩移住者との交流

▼2日目

- 朝 朝食
- 午前 農作業体験
- 昼 昼食
- 振り返り
- 15:54 石巻発
- 16:57 仙台発
- 18:32 東京着

